

同志社法學(昭和廿五・六年度)第五號—第十一號)總目次

論 說

明治憲法草案起草者とその國家思想	田畑 忍	五〇一—五〇一
イギリス議會政治の發達	高橋貞三	五二四—五二四
—比較憲法の一環として—		
アウグスチヌスにおける國家の定義と正義の概念	高田武四郎	五五九—五五九
マキアヴェリズムについて	今井仙一	五七二—五七二
日本における絶對王政の成立と明治維新當時の會議について	岡本清一	五七六—五七六
中國の下級裁判所について	内田智雄	五二〇—五二〇
—華北省順義縣承審所を中心として—		
ルソーの社會契約説について	恒藤武二	五一九—五一九
英古代土地法について	坂 義彦	五一九—五一九
—土地法の史的考察の一—		
Common Law の性格	金山正信	五一九—五一九
アメリカ法における「外國會社」について	岡本善八	五三三—五三三

近代的所有權の成立過程に關する一考察
加藤正男 五二四—五二四

—フランス革命における土地所有の二問題—

華北農村家族に於ける祖先祭祀の意義
内田智雄 六一—六一

刑事責任の構造
秋山哲治 六三—六三

明治憲法草案起草者とその國家思想(二)
田畑 忍 六四—六四

ドイツ民主共和國(東ドイツ)憲法とドイツ連邦共和國(西ドイツ)基本法との對比
高橋貞三 七一—七一

私法原理の思想的基盤について
金山正信 七五—七五

—序考—

合手制(Gesamthand)と民法の組合(一)
服部榮三 七四—七四

明治憲法草案起草者とその國家思想(三・完)
田畑 忍 七三—七三

婚姻の届出について
坂 義彦 八一—八一

中國農村家族における分家事由の一考察
内田智雄 八一—八一

フランスにおける手形裏書の成立と推移
岡本善八 八六—八六

合手制(Gesamthand)と民法の組合(二・完)
服部榮三 八五—八五

ジエームズ哲學と政治的世界：今井仙一 九一
株主の差止請求權……………島本英夫 九三
—米國法を參酌して—

行政事務再配分の方向……………高橋貞三 九五
—行政事務再配分に關する勸告の批判にあわせて—

日本地方自治制の創案者アル
バート・モツセの思想とその……………吉川末次郎 九七
批判(一)
—日本地方行政におけるプロシヤ主義研究の一節—

法律制度とその社會的構造……………加藤正男 九九
—レンナーの法・所有權・勞働契約論をめぐつて—

近世後期に現れた三種の國家……………田畑 忍 一一
思想(上)

國家ならびに政治についての……………今井仙一 一三
—考察—

階級・權力および國家に關する
ノート(上)……………岡本清一 一五

國際政治の概念について……………高橋信司 一七
行政争訟について……………高橋貞三 一九
—訴願を中心として—

中國農村における土地の「先
買權」について(上)……………内田智雄 二一

ドイツ近代商法學の樹立者とし
てのハインリッヒ・トエール……………服部榮三 二三

米國法における投資者保護制……………岡本善八 二四
—特に青空法及び證券法について—

資本制的所有權の社會的構造……………加藤正男 二六
—レンナーの私法理論によせて・その三—

パウンドの法社會學について……………金山正信 二七
フランスにおける勞働協約法……………恒藤武二 二九
の發展に關する一考察
—勞働運動史との關聯の下に—

刑法に於ける過失責任の特質……………秋山哲治 三〇
と本質

法哲學に於ける相對主義……………八木鉄男 三一
—ケルゼンの相對主義とラードブルフ—

階級權力および國家にかんする
ノート(下)……………岡本清一 三二

日本地方自治制の創案者アル
バート・モツセの思想とその……………吉川末次郎 三三
批判(二・完)

判例研究

家屋の全部明渡の請求に對する
一部明渡の判決と民訴第一
八六條(借家法第一條の二に
いわゆる正當の事由)……………坂 義彦 七九

借家法第一條にいわゆる「正當の事由」不法占有者と民法：金山正信 十二頁
 第一七七條の「第三者」

判例にあらわれた生産管理：高橋貞三 十二三

農地買収による所有權移轉：加藤正男 十二四
 登記回復と農調法四條

資料

國會主權論：山本浩三 五二七 二六七

デイドロ「自然法」(譯)：恒藤武二 六七五 三三三

イギリス民法における最近の改革問題：加藤正男 六六三 三五五
 —法律改正委員會をめぐつて—

ロシア「亡命會社」の法人性：岡本善八 六八三 三六六
 (三・完)

P. A. Sorokin の平和計畫論：小野 哲 七九四 四七九
 につして

權利本質論—素描—：加藤正男 七二二 四六一

新カント學派特にラスク及びケルゼンと自然法論(一)：八木鉄男 七三〇 五〇〇

ルソー「社會契約論」草稿(抄譯一)：恒藤武二 七二七 五〇七

地方公務員法と地方自治：高橋貞三 八三三 五六六

新カント學派特にラスク及びケルゼンと自然法論(二・完)：八木鉄男 八五九 五三三

「資本論」における所有權と契約：加藤正男 八九〇 六〇四

—賣買・消費貸借および借地—
 國際政治の構造と變革：川端末人 九二四

—E. H. カーの國際政治學の紹介—

ルソー「社會契約論」草稿(抄譯二)：恒藤武二 九二三

二つの國際社會觀：高橋 悠 九二四

書評と紹介

田畑忍博士「政治學概論」：岡田良夫 六七五 三七五

文化創造の自由と物質生活に於ける統制：岡本清一 八一〇 六二五
 —今井仙一教授の名著「政治哲學の諸問題」の紹介—

教養科目としての法學：金山正信 九二三

—高橋貞三博士著「法學」の紹介—